

午後 II 試験

全問に共通して、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”又は“論述の対象とする製品又はシステムの概要”が適切に記述されていないものが目立った。これらは論述の一部であり，評価の対象となるので，矛盾なく適切な記述を心掛けてほしい。また，解答字数の不足した答案が目立った。

IT ストラテジストの経験と考えに基づいて，設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。問題文及び設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は，評価が低くなってしまうので，是非，留意してもらいたい。

問 1（ビッグデータを活用した革新的な新サービスの提案について）では，事業を優位に展開するために，ビッグデータを活用して革新的な新サービスを提案した経験がある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，活用したビッグデータが明確に定義されていない，革新的なサービスの実現方法について具体的な記述が少ないなど実現可能な提案と評価できない論述が散見された。

問 2（IT 導入の企画における業務分析について）では，業務分析において，業務内容，業務プロセス，IT 活用に関する問題を発見し，その原因を究明して問題の解決策を策定した経験がある受験者には論述しやすかったと思われる。一方で，問題の原因を究明せず，問題とその解決策だけの論述も散見された。

問 3（IoT に対応する組込みシステムの製品企画戦略について）では，既存システムを基にして IoT の活用によるシステムの企画，又はエンタープライズ系の IT ストラテジストと連携して IoT を実現する統合システムの企画について論述を求めた。IoT に関連しない製品企画を題材として，内容の不十分な論述，また既存システムに関する内容と統合システムに関する内容を両方混在させただけの論述が散見された。